

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月5日作成

事業番号	5869	担当課等	学校教育課								
事務事業名	幼稚園子育て支援事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	06	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P124 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	2 幼児教育	(1) 幼児教育の充実	① 教育内容の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	降園後に保護者が用事等で保育できない園児に対し、預かり保育を実施することで子育て支援を行う。								
対象	福浦幼稚園園児								
内容	子育て支援の一環として午後2時から午後4時までの2時間の預かり保育を実施するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	127,628	105,143	105,000		
	人件費	常勤職員	784,056	804,206	766,558	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	784,056	804,206	766,558	
	総事業費	911,684	909,349	871,558		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	911,684	909,349	871,558		
	財源合計	911,684	909,349	871,558		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
預かり保育実施日			曜日	月～金	月～金	月～金
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
保育延人数			人	537	588	600

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 安心して預けられる保育を実施することができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 月～金 14時00分～16時00分に開催、保護者負担金1回450円、おやつ代を含む。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 安心して預けられる保育を実施することができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 園児保護者に受益者負担を負担してもらっている。

令和元年度までの自己評価または改善点	保護者負担額を1回500円から450円に下げた。また、令和元年度10月からの子ども子育て支援法の一部改正により、支給認定区分によって無償化される世帯ができ、ニーズが増えた。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	事業の性格上、幼稚園として行う必要があると考える。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	保護者負担額の減額や無償化の制度利用により、利用者数が増えている。しかし、その分正規職員のみでは対応が厳しく、会計年度任用職員雇用等の人材確保について検討していかなければならない。	
令和3年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	保護者のニーズは高く、今後も継続実施していく。
------	----------	-------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月5日作成

事業番号	4700	担当課等	学校教育課								
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業										
予算科目コード	会計	001	款	09	項	06	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	1 幼児教育	1 幼児教育の充実	2 教育基盤の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	幼稚園における新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心な園生活を推進します。								
対象	福浦幼稚園の児童及び職員								
内容	新型コロナウイルス感染症対策として保健衛生用品等を整備します。 学校休業期間期間中の児童生徒等を支援します。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費			220,000	
コスト	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	0	
総事業費	0	0	220,000		
財源内訳	国庫支出金			220,000	
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	0	
財源合計	0	0	220,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	児童及び職員等の安全・安心の確保や支援であるため、行政が行います。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実することができた。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	新型コロナウイルス感染症対策を充実し、児童が感染症対策等を習慣化することができた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	消耗品が大多数を占めるので、定期的な整備が必要となります。

令和元年度までの自己評価または改善点	
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	性質上、行政が必要である。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	保健衛生用品の充実により、令和2年6月に学校と同様に園を無事再開することができた。また、その後も安全・安心な園生活を推進することができた。	
令和3年度以降の方向性	感染症対策を講じた、安全・安心な園生活の推進を図ります。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	限られた予算の中で、最善な対策に努める必要性がある。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--